

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	社会教育団体活動促進事業				財務会計上の事業名	社会教育団体活動促進事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	5	3	1	1	担当部署名	生涯学習推進課
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第3節社会教育の振興				
	項目	項目1生涯学習の推進と環境整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	社会教育振興のため、文化団体や地域団体の主体的な学習・交流・発表活動の奨励を行う。
めざす姿(目標)	音楽や伝統文化、婦人会などに係る活動を行う社会教育団体の事業を支援することで、社会教育の振興を図る。
事業の対象(誰を、何を)	社会教育関係団体加盟者並びに市民
事業の手段・方法(どのように)	市民が主体となって活動する社会教育関係団体の学習や交流活動を推奨する。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	なし

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)		
	(決算)	(決算)	(予算)							
事業費(千円) A	1,190	967	1,190	各種活動参加者数	21,000人/年	19,110人/年	21,000人/年			
主な内訳	報償金	1,190	967							
☆成果の達成状況					C.判断できない					
財源	国・府支出金			☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	☆事業は効率的に実施できているか	・上記「達成状況」選択の理由 参加者数についてはウェートの多くを10,000人以上が参加し、天候の影響を受けやすい「五月山春のフェスティバル」が占めているため、人数の増減では達成状況が判断できない。 A.有効的である(改善の余地がない) A.効率的である(改善の余地がない) 各事業における参加者数は、概ね前年度並み、または前年度より増加の傾向にあり、各事業は一定の成果を得られている(新型コロナウイルスの影響で未実施の事業を除く)。日頃の社会教育活動の内容や成果を市民へ発表し、周知する機会として有効である。				
	地方債									
	その他()									
	うち受益者負担 B									
一般財源 C	1,190	967	1,190							
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	・上記「有効性・効率性」選択の理由						
受益者負担率 B÷A										

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>各団体が主催するイベントの参加者数については順調に推移している一方で、会員の固定化や高齢化による減少が進んでおり、新規会員の獲得や若い世代への継承に繋がっていないというのが現状である。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>一部団体で運営・集客の見直しが見られるものの、前年踏襲の事業が多く、集客や活動周知の点で課題がある。社会教育関係団体として、広く市民に貢献できる活動を行うよう各団体で意識していただき、運営や集客の改善に主体的に取り組む必要がある。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 社会教育関係団体活動の更なる促進のため、各事業に関する報告機会などを設け、事業の効果を検証・分析することで、活動改善に繋げる。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	PTA活動推進事業				財務会計上の事業名	PTA活動推進事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	5	3	1	2	担当部署名	生涯学習推進課
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第3節社会教育の振興				
	項目	項目1生涯学習の推進と環境整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	スポーツ大会、研修会などの会員交流事業を通して学校園PTA協議会活動を活性化させる。
めざす姿(目標)	学校園PTA会員の活動を活性化し、次世代を担う子どもたちの健全育成を図る。
事業の対象(誰を、何を)	PTA会員
事業の手段・方法(どのように)	PTA協議会が実施する事業(会議・交流会・研修会)に対し、資料の作成・事業運営への助言・大阪府PTA協議会等関係団体との連絡調整を行う。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	社会教育法第11条

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	100	80	95		活動回数	19回	19回	17回
主な内訳	報償金	80	60	80				
	消耗品費	20	20	15				
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	協議会の開催、安全対策等に関する部会活動、研修会やスポーツ大会の実施などの活動を通して、PTA会員の活動が活性化されている。		
	地方債							
	その他()				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
一般財源 C	100	80	95	・上記「有効性・効率性」選択の理由	協議会の開催、安全対策等に関する部会活動、研修会やスポーツ大会の実施など、幅広い分野で活動の活性化が図られている。また、活動の充実を踏まえると、事業費等の更なるコスト削減は困難である。			
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>共働き世帯の増加や女性の社会進出、少子化などにより、対象(PTA会員)の属性や数は、事業開始時(昭和38年度)から変化してきている。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>役員と一般会員の意識の乖離が見られることがある。また、社会教育関係団体である市PTA協議会自身が運営主体となり、会計業務等を行う必要がある。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 PTA活動の充実、学校・家庭・地域の連携強化につながり、地域全体で子どもを育む環境の醸成が見込まれるため。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	女性団体活動促進事業				財務会計上の事業名	女性団体活動促進事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	5	3	1	3	担当部署名	生涯学習推進課
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第3節社会教育の振興				
	項目	項目1生涯学習の推進と環境整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	地域間や会員相互の交流促進のため、女性団体と共同で、消費者問題や健康問題、社会情勢についての勉強会を開催する。
めざす姿(目標)	会員の高齢化に伴う参加者数の減少を抑制し、地域づくりの核となる女性の社会参加を促進する。
事業の対象(誰を、何を)	市内婦人団体会員、市民
事業の手段・方法(どのように)	女性の社会参加のための啓発・交流事業の実施
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	社会教育法第11条

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	30	50	50	指標値(活動・成果)	延参加者数	600人/年	542人/年	540人/年
主な内訳								
報償金	30	50	50					
財源				☆成果の達成状況	A.順調に推移している			
国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	会員の高齢化や女性の社会進出の進行等により、婦人会の単位数や実働会員数が減少傾向にある中、活動への参加・協力は一定数を維持できている。			
地方債								
その他()				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)			
うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)			
一般財源 C	30	50	50	・上記「有効性・効率性」選択の理由	会員のライフスタイルの変化や高齢化等に伴い、婦人会の単位数や実働会員数が減少傾向にある中、勉強会等の活動へは一定数の参加・協力を維持している。また、活動は会員相互の交流の促進や地域社会への貢献につながっている。			
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>会員の高齢化や女性の社会進出の進行等により、婦人会の単位数や実働会員数、活動回数は減少傾向である。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>婦人会活動の周知、他地域からの加入認可等</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 婦人会活動は、地域における各行事の運営及び地域住民の交流において重要な役割を果たすものであり、引き続き活動を支援する。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	市吹奏楽団育成事業				財務会計上の事業名	市吹奏楽団育成事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	5	3	1	4	担当部署名	生涯学習推進課
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第3節社会教育の振興				
	項目	項目1生涯学習の推進と環境整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	市民に音楽を提供する場を増やすため、市吹奏楽団を育成し、演奏会を開催する。
めざす姿(目標)	吹奏楽団を育成するとともに、演奏会の出演回数を増やし、音楽のまちづくりを推進する。
事業の対象(誰を、何を)	池田市吹奏楽団団員、市民
事業の手段・方法(どのように)	市吹奏楽団を育成し、演奏活動を行なうことで、市内の音楽文化の醸成、涵養を図る。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	社会教育法第10条、第11条

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値 (活動・成果)
	(決算)	(決算)	(予算)	
事業費(千円) A	5,007	2,237	2,284	団員数 年2回の定期演奏会の入場者数 出演数
主な内訳	報償金	1,320	1,320	
	消耗品費	2,722	40	
	会場借上料	557	540	
財源				☆成果の達成状況 ・上記「達成状況」選択の理由 ☆目標達成のための有効な事業内容となっているか ☆事業は効率的に実施できているか ・上記「有効性・効率性」選択の理由
国・府支出金				A.順調に推移している 入場者数が減ることもなく、依頼演奏にも対応できている。 A.有効的である(改善の余地がない) A.効率的である(改善の余地がない) 事業実施により、演者の発表の機会を設けることができ、市民にも気軽に吹奏楽の演奏が聴く機会がある。また、市の行事に参加することで、盛り上げることができる。
地方債				
その他()				
うち受益者負担 B				
一般財源 C	5,007	2,237	2,284	
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	
受益者負担率 B÷A				

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等) 池田市の小・中学校の吹奏楽活動は盛んである。事業があることで、大人の演奏機会を設けることができ、池田市全体の音楽活動が充実が図れる。なお、コロナ感染症予防のため、演奏機会が減っているが、練習は続けている。	
目標達成に向けた課題 練習による、演奏の上達。	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性 現状維持 《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 今後も、練習を行ない、演奏活動を行なう。市の行事にも参加する。

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	音楽団体海外交流促進事業				財務会計上の事業名	音楽団体海外交流促進事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	5	3	1	5	担当部署名	生涯学習推進課
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第3節社会教育の振興				
	項目	項目1生涯学習の推進と環境整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和元年度
事業内容	音楽団体の海外交流促進のため、海外の団体との相互交流や発表活動を支援する。
めざす姿(目標)	音楽団体の海外交流を支援し、交流・発表活動を通じて音楽文化の活性化を図る。
事業の対象(誰を、何を)	池田市音楽連盟会員、市民
事業の手段・方法(どのように)	本市出身者が指導するドイツのピックバンドクラブとの音楽交流を通じ、市内の音楽文化の醸成、涵養を図る。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	社会教育法第10条、第11条

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	1,000	800	0	年間交流回数	1回	1回	1回	-
主な内訳								
報償金	1,000	800	0					
☆成果の達成状況					C.判断できない			
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	継続して実施する事業ではないため、推移の判断は不可能。		
	地方債							
	その他()				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
一般財源 C	1,000	800	0	・上記「有効性・効率性」選択の理由	音楽団体の活動の促進につながり、有効である。			
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%						
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>平成30年度及び令和元年度だけの事業であり、状況の変化は特になし。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>特になし</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>廃止</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 令和2年度は当該事業を実施しない。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	池田市PTA協議会防災サミット事業				財務会計上の事業名	池田市PTA協議会防災サミット事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	5	3	1	6	担当部署名	生涯学習推進課
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第3節社会教育の振興				
	項目	項目1生涯学習の推進と環境整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和元年度
事業内容	近年の災害を踏まえ、市制施行80周年にあたる平成31年度を「防災」を保護者で考える機会とし、PTA協議会主催による「防災サミット」を実施する。
めざす姿(目標)	PTA協議会主催による防災サミットを開催することで、市民の防災への意識を高め、防災力の向上に資する。
事業の対象(誰を、何を)	市民
事業の手段・方法(どのように)	防災サミットの開催
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	社会教育法第11条

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)	
	(決算)	(決算)	(予算)						
事業費(千円) A	-	20	-	事業回数	-	-	1回	-	
主な内訳	報償金	-	20						
☆成果の達成状況					C.判断できない				
財源	国・府支出金			・上記「達成状況」選択の理由	継続して実施する事業ではないため、推移の判断は不可能。				
	地方債								
	その他()				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)			
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)			
一般財源 C		20		・上記「有効性・効率性」選択の理由	防災講演やワークショップ、展示ならびに防災冊子の配布など、多様な手法による啓発活動は、市民の防災意識・防災力の向上につながり、有効である。				
一般財源比率 C÷A		100.0%							
受益者負担率 B÷A									

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>令和元年度だけの事業であり、状況の変化は特になし。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>特になし</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>廃止</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 令和2年度は当該事業を実施しない。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	社会教育施設管理事業				財務会計上の事業名	社会教育施設管理事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	5	3	1	7	担当部署名	生涯学習推進課
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第3節社会教育の振興				
	項目	項目1生涯学習の推進と環境整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	社会教育施設の維持管理や修繕を行う。
めざす姿(目標)	適切な維持管理を行い、使用者に安心・快適に利用してもらう。
事業の対象(誰を、何を)	社会教育施設
事業の手段・方法(どのように)	不具合箇所の修繕、周辺環境の整理
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値 (活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	16,780	4,866	4,540	主 な 内 訳	修理箇所	10件	12件	6件
修繕料	13,918	4,127	3,000					
調査委託料	2,160							
植栽管理委託料		302	1,100					
☆成果の達成状況					C.判断できない			
財 源	国・府支出金			・上記「達成状況」選択の理由	予算の範囲内では達成できているが、予算化できていない修繕箇所がある。			
	地方債				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか			
	その他(予備費) B	10,800			☆事業は効率的に実施できているか			
	うち受益者負担				B.改善の余地がある			
	一般財源 C	6,760	4,866		4,540	B.改善の余地がある		
一般財源比率 C÷A	40.3%	100.0%	100.0%	・上記「有効性・効率性」選択の理由	予算の範囲内では達成できているが、予算化できていない修繕箇所がある。			
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>予算の範囲内で、優先順位をつけて修繕を実施する。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>緊急の修繕が入り、計画通りにいかない場合がある。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 予算の範囲内で実施する。補助金などを活用する。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	社会教育施設管理工事業				財務会計上の事業名	社会教育施設管理工事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	5	3	1	8	担当部署名	生涯学習推進課
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第3節社会教育の振興				
	項目	項目1生涯学習の推進と環境整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	社会教育施設の修繕工事を計画的に行う。
めざす姿(目標)	適切な維持管理を行い、使用者に安心・快適に利用してもらう。
事業の対象(誰を、何を)	社会教育施設
事業の手段・方法(どのように)	不具合個所の改修工事、周辺環境の整理
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値 (活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)				
	(決算)	(決算)	(予算)									
事業費(千円) A	2,678	19,616	6,600	改修工事箇所	1件	1件	1件	2件				
主な内訳	工事請負費	2,678	15,876									
	設計委託料		3,740									
☆成果の達成状況					C.判断できない							
財源	国・府支出金			☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	☆事業は効率的に実施できているか	上記「達成状況」選択の理由						
	地方債					予算の範囲内では達成できているが、予算化できていない修繕工事がある。						
	その他()					B.改善の余地がある						
	うち受益者負担 B					B.改善の余地がある						
一般財源 C	2,678	19,616	6,600	上記「有効性・効率性」選択の理由								
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	予算の範囲内では達成できているが、予算化できていない修繕工事がある。								
受益者負担率 B÷A												

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>予算の範囲内で、優先順位をつけて工事を実施する。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>工事費が高額になり予算化できない場合がある。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 予算の範囲内で実施する。補助金などを活用する。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	社会教育施設改修事業				財務会計上の事業名	社会教育施設改修事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	5	3	1	9	担当部署名	生涯学習推進課
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第3節社会教育の振興				
	項目	項目1生涯学習の推進と環境整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	社会教育施設の耐震診断を行うとともに、必要に応じて耐震設計・耐震工事を実施する。
めざす姿(目標)	適切な維持管理を行い、使用者に安心・快適に利用してもらう。
事業の対象(誰を、何を)	社会教育施設
事業の手段・方法(どのように)	耐震診断、耐震設計、耐震改修工事、周辺環境の整理
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値 (活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A		303,606	198,391	耐震工事箇所	1件	1件	1件	6件
主な内訳	工事請負費	299,029	195,399					
	監理委託料	4,577	2,992					
☆成果の達成状況					C.判断できない			
財源	国・府支出金	15,935		・上記「達成状況」選択の理由	スポーツセンターの耐震改修工事は令和2年度に完了するが、他の社会教育施設では耐震診断を行っていない施設もある。			
	地方債	247,000						
	その他(宝くじ・基金)		77,291	☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	B.改善の余地がある			
	うち受益者負担 B			☆事業は効率的に実施できているか	B.改善の余地がある			
	一般財源 C	40,671	121,100	・上記「有効性・効率性」選択の理由	スポーツセンターの耐震改修工事は令和2年度に完了するが、他の社会教育施設では耐震診断を行っていない施設もある。			
一般財源比率 C÷A	13.4%	61.0%						
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>社会教育施設の今後の在り方で、社会教育施設の耐震診断は必要と考え、結果次第で、改修・廃止の判断は必要となる。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>耐震診断の予算化</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 予算の範囲内で実施する。補助金などを活用する。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	児童館管理運営事業				財務会計上の事業名	児童館管理運営事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	5	3	1	10	担当部署名	生涯学習推進課
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第3節社会教育の振興				
	項目	項目1生涯学習の推進と環境整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	児童館の適切な管理運営を行う。
めざす姿(目標)	指定管理者制度により、「学びの館」として青少年の自主的な教育活動を支援し、健全な育成を図る。
事業の対象(誰を、何を)	児童館
事業の手段・方法(どのように)	指定管理者による管理運営
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	なし

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	13,700	13,827	13,827	利用者数	17,000人/年	17,000人/年	16,214人/年	17,000人/年
主な内訳								
指定管理料	13,700	13,827	13,827					
財源				☆成果の達成状況	A.順調に推移している			
国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	少子高齢化に伴う人口減少により利用者の減少は不可避であるが、その中でも減少幅は比較的小さく抑えられている。			
地方債								
その他()				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)			
うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)			
一般財源 C	13,700	13,827	13,827	・上記「有効性・効率性」選択の理由	指定管理者の特色を生かした事業を展開することで、利用者のニーズに合わせたきめ細やかな対応ができています。			
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)	
平成21年10月より指定管理者制度を導入。現在は池田市退職教職員友の会(教友会)が管理運営を行っている。少子高齢化の進行により利用者は減少傾向にあるが、地域や学校とも連携しながら様々な事業を展開しており、子どもたちの居場所としてのニーズは非常に高いと考えられる。	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
施設の老朽化が進んでいるため、将来的な事業継続を考えるとすれば、建物の耐震化も含めた大規模な改修あるいは建替が必要。	現状維持 《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 社会教育施設の事業評価を行い、事業改善のための検証・提案を行う機会を定期的に設けることで、より有意義な事業展開ができるよう行政として支援していく。

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	野外活動センター管理事業				財務会計上の事業名	野外活動センター管理事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	5	3	1	11	担当部署名	生涯学習推進課
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第3節社会教育の振興				
	項目	項目1生涯学習の推進と環境整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	野外活動センターの適切な維持管理を行う。
めざす姿(目標)	管理経費を最小限に抑え、現地を維持管理する。
事業の対象(誰を、何を)	野外活動センター
事業の手段・方法(どのように)	職員による巡回、シルバー人材センターへの除草委託
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	なし

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)	
	(決算)	(決算)	(予算)						
事業費(千円) A	141	130	159	利用者数	0人/年	0人/年	0人/年	C.判断できない	
主な内訳	通信運搬費	11	0						0
	手数料	0	0						20
	シルバーセンター活用事業委託料	130	130						139
財源				☆成果の達成状況	C.判断できない				
国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	現在は利用を停止しており、今後の活用についても未定である。				
地方債				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)				
その他(電柱等敷地使用料)	9	9	19	☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)				
うち受益者負担 B				・上記「有効性・効率性」選択の理由	改修して、再度供用するという改善の方法もあるが、コストとニーズを考えると、供用停止が妥当。				
一般財源 C	132	121	140						
一般財源比率 C÷A	93.6%	93.1%	88.1%						
受益者負担率 B÷A									

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>利用者の減少や施設の老朽化等により、平成22年度から一般利用を停止している。利用者が減少した理由としては、交通の便が悪いことや、水道やトイレ等の衛生上の問題、利用者による騒音の問題などが挙げられる。また、周辺には他市のキャンプ場もあり、ニーズは低い。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>費用対効果を見極めたくうえで、廃止か活用かの方向性を決定する必要がある。施設として利用を再開する場合は、橋、接続道路、広場、トイレ等設備の修繕が必要。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 将来的に廃止か活用かの方向性を決定する必要があるが、当面は最小限のコストで維持管理を行う。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	水月児童文化センター管理運営事業				財務会計上の事業名	水月児童文化センター管理運営事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	5	3	1	12	担当部署名	生涯学習推進課
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第3節社会教育の振興				
	項目	項目1生涯学習の推進と環境整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	水月児童文化センターの適切な管理運営を行う。
めざす姿(目標)	指定管理者制度により、児童に対する情操の涵かん養、科学知識の普及、生活指導の実施などを図り、健全な自発活動の促進を支援する。
事業の対象(誰を、何を)	水月児童文化センター
事業の手段・方法(どのように)	指定管理者による管理運営
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	なし

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値 (活動・成果)
	(決算)	(決算)	(予算)	
事業費(千円) A	19,782	21,168	21,362	利用者数
指定管理料	19,782	21,168	21,362	
国・府支出金				
地方債				
その他()				うち受益者負担 B
一般財源 C	19,782	21,168	21,364	
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	受益者負担率 B÷A

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
利用者数	36,000人/年	35,248人/年	36,000人/年
☆成果の達成状況	A.順調に推移している		
・上記「達成状況」選択の理由	少子高齢化に伴う人口減少により利用者の減少は不可避であるが、その中でも減少幅は比較的小さく抑えられている。		
☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
・上記「有効性・効率性」選択の理由	指定管理者の特色を生かした事業を展開することで、利用者のニーズに合わせたきめ細やかな対応ができています。		

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>平成13年度から民間へ管理運営委託、平成16年4月から指定管理者制度を導入。現在はNPO法人北摂こども文化協会が管理運営を行っている。少子高齢化が進んでいるにもかかわらず利用者は増加傾向にあり、子育て世代のニーズは非常に高いと考えられる。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>施設の老朽化が進んでいるため、将来的な事業継続を考えるのであれば、建物の耐震化も含めた大規模な改修あるいは建替が必要。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 社会教育施設の事業評価を行い、事業改善のための検証・提案を行う機会を定期的に設けることで、より有意義な事業展開ができるよう行政として支援していく。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	五月山児童文化センター管理運営事業				財務会計上の事業名	五月山児童文化センター管理運営事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	5	3	1	13	担当部署名	生涯学習推進課
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第3節社会教育の振興				
	項目	項目1生涯学習の推進と環境整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	五月山児童文化センターの適切な管理運営を行う。
めざす姿(目標)	指定管理者制度により、児童に対する情操の涵かん養、科学知識の普及、生活指導の実施などを図り、健全な自発活動の促進を支援する。
事業の対象(誰を、何を)	五月山児童文化センター
事業の手段・方法(どのように)	指定管理者による管理運営
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	なし

3 事業費等

区分	H30年度 (決算)	R元年度 (決算)	R2年度 (予算)	指標値 (活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)
	事業費(千円) A	27,364	27,364					
主な内訳	指定管理料	27,364	27,364	28,614				
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	少子高齢化に伴う人口減少により利用者の減少は不可避であるが、その中でも減少幅は比較的小さく抑えられている。		
	地方債							
	その他(使用料) B	217	135	216	☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
一般財源 C	27,147	27,229	28,398	・上記「有効性・効率性」選択の理由	指定管理者の特色を生かした事業を展開することで、利用者のニーズに合わせたきめ細やかな対応ができています。			
一般財源比率 C÷A	99.2%	99.5%	99.2%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>平成20年7月から指定管理者制度を導入。現在はNPO法人関西コミュニティ協会が管理運営を行っている。少子高齢化が進んでいるにもかかわらず利用者は増加傾向にあり、子育て世代のニーズは非常に高いと考えられる。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>施設の老朽化が進んでいるため、将来的な事業継続を考えるのであれば、建物の耐震化も含めた大規模な改修あるいは建替が必要。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 社会教育施設の事業評価を行い、事業改善のための検証・提案を行う機会を定期的に設けることで、より有意義な事業展開ができるよう行政として支援していく。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	くれは音楽堂管理事業				財務会計上の事業名	くれは音楽堂管理事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	5	3	1	14	担当部署名	生涯学習推進課
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第3節社会教育の振興				
	項目	項目1生涯学習の推進と環境整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	くれは音楽堂の適切な維持管理を行い、効率的・効果的に活用する。
めざす姿(目標)	音楽活動の場を提供し、音楽の振興を図る。
事業の対象(誰を、何を)	くれは音楽堂
事業の手段・方法(どのように)	シルバー人材センターへの清掃・管理委託
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	なし

3 事業費等

区分	H30年度 (決算)	R元年度 (決算)	R2年度 (予算)	
	事業費(千円) A	3,007	2,990	3,423
主な内訳	光熱水費	1,927	1,928	2,067
	設備保守点検委託料	244	239	268
	シルバーセンター活用事業委託料	543	560	767
財源	国・府支出金			
	地方債			
	その他(使用料)	767	714	900
	うち受益者負担 B			
	一般財源 C	2,240	2,276	2,523
一般財源比率 C÷A	74.5%	76.1%	73.7%	
受益者負担率 B÷A				

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)
(活動・成果)	利用者数	25,000人/年	19,602人/年	25,000人/年
☆成果の達成状況		A.順調に推移している		
・上記「達成状況」選択の理由		定期的な利用がある一方で、利用者からのクレーム等はなく、満足できる施設提供が行えている。		
☆目標達成のための有効な事業内容となっているか		A.有効的である(改善の余地がない)		
☆事業は効率的に実施できているか		A.効率的である(改善の余地がない)		
・上記「有効性・効率性」選択の理由		シルバー人材センターなどの活用により、維持管理は問題なくできている。		

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>平成20年度より、音楽堂部分を学校施設から切り離して社会教育施設として一般利用を開始して以降、市民による音楽活動や芸術鑑賞の貴重な場となっている。また、呉服小学校吹奏楽クラブや市吹奏楽団の演奏・練習場などとして使用されており、「音楽のまち」としての本市の文化的発展に寄与している。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>定期的な利用がある一方で、年間の一般利用者数はほぼ横ばいであり、周知方法の見直しなど利用促進に向けた取り組みが課題である。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 引き続き快適に利用できるよう努力するとともに、更なる利用促進のため、市民への周知を徹底する。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	中央公民館管理運営事業				財務会計上の事業名	中央公民館管理運営事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	5	3	1	15	担当部署名	中央公民館
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第3節社会教育の振興				
	項目	項目1生涯学習の推進と環境整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	中央公民館の適切な管理運営を行うとともに、貸館業務並びに情報コーナーを整備・充実させる。
めざす姿(目標)	市民の交流の場、生涯学習や情報発信の拠点として、機能を充実させ、市民サービスの向上を図る。
事業の対象(誰を、何を)	市民
事業の手段・方法(どのように)	維持管理経費の節減に努める。運営に必要な消耗品の整備。施設の利用について広報誌やHPによる効果的なPR。
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)	
	(決算)	(決算)	(予算)						
事業費(千円) A	12,161	11,989	14,603	利用者数	73,200人/年	73,200人/年	63,423人/年	74,000人/年	
主な内訳	光熱水費	3,525	3,146						4,251
	清掃委託料警備	2,690	2,713						3,400
	警備委託料	1,728	1,691						2,016
☆成果の達成状況					A.順調に推移している				
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	利用者数の実績人数減は、コロナウイルス感染症拡大防止による休館の影響を受けていると考えられるため。			
	地方債								
	その他(公民館使用料等)	12,161	10,877	11,455	☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)			
	うち受益者負担 B	11,190	9,920	10,092	☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)			
	一般財源 C	0	1,112	3,148	・上記「有効性・効率性」選択の理由	利用者数は、休館時の実績が前年度の実績に近い利用者数であれば、R元実績も順調に伸びていると思われる。効率性についてはその他の財源であった、テナントの賃料が移転により減となったためであり、その他費用については削減に努めている。			
一般財源比率 C÷A		9.3%	21.6%						
受益者負担率 B÷A	92.0%	82.7%	69.1%						

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>市民の生涯学習に対する関心は高まってきているが、「興味はあるがなかなか踏み出させない」状況も否めない。また、子育て中の世代には同じような環境の仲間と交流する場がより多く必要とされている。市民に公民館へ気軽に足を運んでもらえるよう、幅広い市民の要望に対応できるような環境整備・運営することが必要と考える。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>利用件数の増加に伴い、光熱水費の増加が見込まれる。近年の貸館状況を見ると少人数での利用件数が多いため、件数の増加ほど利用者数の増加がみられない。館の利用者が固定化されているため、利便性についてより多くの市民に知ってもらわなければならない。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 経費節減に努めると共に、市の中心に位置する唯一の公民館として、市民の幅広い要望に対応できるよう館をPRできるような事業も検討しながら、今後も事業を継続していく。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	文化教養講座事業				財務会計上の事業名	文化教養講座事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	5	3	1	16	担当部署名	中央公民館
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第3節社会教育の振興				
	項目	項目1生涯学習の推進と環境整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	中央公民館において、市民の多様化・高度化する学習ニーズに対応するため、各種文化教養講座を開催する。
めざす姿(目標)	子どもから高齢者まで、さまざまな対象者のニーズに応じた講座を開催し、生涯学習を充実させる。
事業の対象(誰を、何を)	市民
事業の手段・方法(どのように)	成人、高齢者、家庭教育、親と子どもを対象とした文化教養講座を実施する。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)	
	(決算)	(決算)	(予算)						
事業費(千円) A	526	454	613	受講者数		1,719人/年	1,712人/年	1,800人/年	
主な内訳	報償金	518	446						593
	消耗品	4	4						5
	通信運搬費	4	4						10
☆成果の達成状況					A.順調に推移している				
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	年度末コロナウイルス感染症拡大防止による休館で、予定していた講座を中止したが受講者の数は順調に増加しているため。			
	地方債								
	その他(公民館使用料)	526	0	0	☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)			
	うち受益者負担 B	526	0	0	☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)			
一般財源 C	0	454	613	・上記「有効性・効率性」選択の理由	継続的に実施している講座に加え、企業のCSR活動との連携講座の開始などにより、受講者数増加が認められた。効率性については、他部署との連携による講座・イベントを増やすことに努める。				
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%						
受益者負担率 B÷A	100.0%								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>社会情勢の変化に伴い、青少年教育、高齢者教育、家庭教育、人権学習、環境学習、情報学習等市民の関心や求められる情報が多岐に渡り、ニーズに対応した学習機会の設定が難しくなっている。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>講座開催後のアンケート等により市民のニーズに応じた講座や、社会情勢を見据えた情報提供を行い市民の生涯学習の充実を努める。また、各種講座への参加者が増えるよう、市民の公民館への認知度を上げるためのPRも必要である。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 市民が求める多様な学習ニーズに対応した各種講座やイベント等の事業を開催して市民の教養の向上や生涯学習の必要性を啓発するとともに支援する。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	市民俳句・短歌大会開催事業				財務会計上の事業名	市民俳句・短歌大会開催事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	5	3	1	17	担当部署名	中央公民館
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第3節社会教育の振興				
	項目	項目1生涯学習の推進と環境整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和元年度
事業内容	伝統文化のひとつである俳句・短歌を通して市民の交流を図るとともに、歌評者を中心とした市民が運営する会を支援する。
めざす姿(目標)	市民俳句・短歌大会の開催により、市民の交流、文化意識の高揚及び作品内容の向上を図る。
事業の対象(誰を、何を)	市民及び近隣市町の俳句・短歌愛好家
事業の手段・方法(どのように)	俳句大会・短歌大会の開催。チラシ、広報誌、HPによるPR
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	
	(決算)	(決算)	(予算)		
事業費(千円) A	26	27	0		
主な内訳	報償金	15	15	0	
	賞賜金	9	9	0	
	通信運搬費	2	3	0	
財源	国・府支出金				☆成果の達成状況 B.順調に推移していない ・上記「達成状況」選択の理由 ☆目標達成のための有効な事業内容となっているか ☆事業は効率的に実施できているか ・上記「有効性・効率性」選択の理由
	地方債				
	その他(公民館使用料)	26	0	0	
	うち受益者負担 B	26	0	0	
	一般財源 C	0	27	0	
一般財源比率 C÷A		100.0%			
受益者負担率 B÷A	100.0%				

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
参加者数	84人	85人	100人
国・府支出金			
地方債			
その他(公民館使用料)	26	0	0
うち受益者負担 B	26	0	0
一般財源 C	0	27	0
一般財源比率 C÷A		100.0%	
受益者負担率 B÷A	100.0%		

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>俳句大会への参加者数の増加は少ないが、貸館の状況からみると俳句の活動をするグループは増加傾向に見える。令和2年度より文化教講座事業に事業統合する。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>俳句大会のジュニアの部を廃止し、夏休みの小・中学生対象俳句教室の実施と共に高校生を一般の部へ変更したが、高校生の参加が少なく参加者数の減となった。以前に比べテレビの影響等もあり、俳句が身近になっているのでより多くの方が俳句・短歌作りを体験できるような機会を作る。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>その他</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 俳句・短歌の活動に参加している市民を各大会へ参加へ繋げるよう、大会実施の周知・PRの方法を検討する。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	美術展開催事業				財務会計上の事業名	美術展開催事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	5	3	1	18	担当部署名	中央公民館
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第3節社会教育の振興				
	項目	項目1生涯学習の推進と環境整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	文化振興を担う、いけだ市民文化振興財団と連携して、池田市美術展を開催する。
めざす姿(目標)	池田市美術展の入場者数及び出品者数を増加させ、創作活動の意欲向上や文化意識の醸成を図る。
事業の対象(誰を、何を)	市民及び近隣市町の美術愛好家
事業の手段・方法(どのように)	市の文化振興を担う、池田市市民文化振興財団に事業委託する。
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	
	(決算)	(決算)	(予算)		
事業費(千円) A	2,450	2,713	2,585		
主な内訳	賞賜金	168	0		
	シルバーセンター活用事業委託	3	0		
	行事委託料	2,450	2,542	2,585	
財源	国・府支出金				
	地方債				
	その他(文化振興基金等)	2,450	2,542	2,585	
	うち受益者負担 B	298	325	250	
	一般財源 C	0	171	0	
一般財源比率 C÷A		6.3%			
受益者負担率 B÷A	12.2%	12.0%	9.7%		

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
入場者数	2,564人	2,739人	2,600人
出品者数	333人	325人	350人
☆成果の達成状況	A.順調に推移している		
・上記「達成状況」選択の理由	出品者数は増加していないが、入場者数は増加しているため。		
☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
・上記「有効性・効率性」選択の理由	成果指標の美術展入場者は増えている。効率性については、継続して委託で実施することが効率的である。		

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>文化振興基金からの繰り入れて、一部業務委託をして開催しているが、繰り入れが終了となった後の事業計画について検討が必要。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>成果指標である入場者数は増加しており成果を得られているが、出品数の増については成果があらわれないため、特に若者(美術学校の生徒等)の出品を増やすため検討が必要である。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 池田市美術展の開催にあわせて市立ギャラリー・ギャルリVEGAで開催していた、池田市美術協会会員展を、池田市美術展終了後公民館で開催することにより、入場者の増を見込める。また、出品作品の増加に向けては、美術展の開催についてのPR並びに前年度出品者への個別案内を継続する。また、次年度より18歳未満の出品者の出品料を無料とする。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	図書館・石橋プラザ管理運営事業				財務会計上の事業名	図書館管理運営事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	5	3	1	19	担当部署名	図書館
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第3節社会教育の振興				
	項目	項目1生涯学習の推進と環境整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	図書館、石橋プラザの適切な管理運営を行うとともに、市民の課題解決に役立つ資料・情報の提供及び展示や行事を実施する。また、平成31年度には図書館本館を池田駅前へ移転する。
めざす姿(目標)	「地域の情報拠点」として、図書館機能を充実させ、市民サービスの向上を図る。
事業の対象(誰を、何を)	市民、市内通勤・通学者、北摂地区広域利用者、川西市相互利用者
事業の手段・方法(どのように)	図書館資料の貸出し、レファレンス、障がい者サービス、各種行事
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)
	(決算)	(決算)	(予算)	
事業費(千円) A	56,164	68,566	74,566	
主な内訳	建物借上料	0	28,524	29,433
	図書費	20,160	15,000	15,000
	光熱水費	6,986	5,832	10,595
	その他(雑入等)	5,757	126	145
うち受益者負担 B				
一般財源 C	50,407	68,440	74,421	
一般財源比率 C÷A	89.7%	99.8%	99.8%	
受益者負担率 B÷A				

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
本館利用者数	172,031人/年	446,050人/年	270,000人/年
石橋プラザ利用者数	130,190人/年	118,169人/年	140,000人/年
☆成果の達成状況	A.順調に推移している		
・上記「達成状況」選択の理由	本館の駅前移転に伴い、本館の利用者数が、約2.5倍に増加しているため。		
☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
・上記「有効性・効率性」選択の理由	本館の駅前移転に伴い、駅直結の好立地に加え、開館日及び開館時間の拡大により、市民の利便性が格段に向上した結果、利用者数の増加につながっていると考えられる。		

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>本館の駅前移転の反響は大きく、利用者数が2.5倍に増加したが、今後は、その利用者が、継続して図書館を利用したいと思えるサービスの提供と、駅前の好立地を活かし、まだ図書館を利用したことがない市民が図書館を利用するきっかけとなるイベント等の実施や、駅前の店舗と連携した事業の実施による、駅前のにぎわい創出等が今後の課題であると認識している。また、効率的な管理運営に向けて、指定管理者制度の導入について、メリット、デメリットを検証する必要がある。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>新図書館での利用者数が増加し、今後図書館サービスの向上が期待されるが、正規職員の司書が不足しており、十分なサービスを提供するには、図書館の管理運営方法の見直しが必要である。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 現状を維持しつつ、今後の図書館の管理運営方法について検討する必要がある。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	図書館・石橋プラザ管理運営事業				財務会計上の事業名	石橋プラザ管理運営事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	5	3	1	19	担当部署名	石橋プラザ
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第3節社会教育の振興				
	項目	項目1生涯学習の推進と環境整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	図書館、石橋プラザの適切な管理運営を行うとともに、市民の課題解決に役立つ資料・情報の提供及び展示や行事を実施する。また石橋プラザについては令和4年に移転を予定。
めざす姿(目標)	「地域の情報拠点」として、図書館機能を充実させ、市民サービスの向上を図る。
事業の対象(誰を、何を)	市民、市内通勤通学者、一部隣接市登録者、北摂地区広域利用者、川西市相互利用者
事業の手段・方法(どのように)	図書の貸出、レファレンス、行事及び展示活動
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	
	(決算)	(決算)	(予算)		
事業費(千円) A	31,845	31,964	32,401		
主な内訳	図書費	4,000	4,000	4,000	
	建物借上料	17,127	17,127	17,445	
	シルバー委託料	1,862	1,948	2,170	
	国・府支出金				
財源	地方債				
	その他(雑入)	47	35	38	
	うち受益者負担 B				
	一般財源 C	31,798	31,929	32,363	
一般財源比率 C÷A	99.9%	99.9%	99.9%		
受益者負担率 B÷A					

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
石橋プラザ利用者数	130,190人/年	118,169人/年	140,000人/年
本館利用者数	172,031人/年	446,050人/年	270,000人/年
蔵書冊数	44,201冊	41,825冊	143,000冊
貸出冊数	186,453冊	161,123冊	200,000冊
☆成果の達成状況	A.順調に推移している		
・上記「達成状況」選択の理由	来館者数及び貸出冊数についてはコロナにより3月6日から予約本の貸出のみ、また3月12日から臨時休館としたため減少となった。		
☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
・上記「有効性・効率性」選択の理由	今回はコロナの影響により休館していたこともあり、貸出数、来館者数が減少したと考えられる。コロナの影響がなければ、例年通りの貸出数および来館者数はキープできたものとする。		

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>石橋プラザの移転に向け計画的に必要な準備にかかるとともに、移転後の管理運営について指定管理者制度を含め検討中</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>石橋プラザの移転(書庫を含む)と移転後の管理運営形態</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 本館と連携を図りつつ7月に努めるとともに、移転に向けて計画的に準備を行う必要がある。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	市民スポーツ振興事業				財務会計上の事業名	市民スポーツ振興事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	5	3	2	1	担当部署名	生涯学習推進課
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第3節社会教育の振興				
	項目	項目2スポーツ・レクリエーション活動の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	スポーツ関係団体の連携と調整を図り、市民総合体育大会、種目別大会を行う。また、ジュニアスポーツ育成事業を実施する。
めざす姿(目標)	スポーツ関係団体との連携による各種大会の開催、ジュニアスポーツ育成事業の実施を通じて、スポーツ振興を図る。
事業の対象(誰を、何を)	池田市市民スポーツ振興協議会
事業の手段・方法(どのように)	各種スポーツ大会等の事業に対して補助金を交付する
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)
	(決算)	(決算)	(予算)	
事業費(千円) A	4,616	2,979	3,663	
主な内訳	補助金	1,616	1,700	1,700
	委託料	1,200	1,200	1,400
	報償金	1,770	20	500
財源	国・府支出金			
	地方債			
	その他(基金繰入金、基金利子)	1,820	30	
	うち受益者負担 B			
	一般財源 C	2,796	2,949	3,663
一般財源比率 C÷A	60.6%	99.0%	100.0%	
受益者負担率 B÷A				

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
参加者数	11,011人/年	10,683人/年	12,000人/年
☆成果の達成状況	A.順調に推移している		
・上記「達成状況」選択の理由	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった事業があったため、参加者数は減ったものの順調に推移している。		
☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
・上記「有効性・効率性」選択の理由	教育委員会との共催事業として池田市体育連盟等体育団体が主体となっており、効率的かつ効果的に大会の実施等を行っているため。		

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で猪名川マラソンが中止となった。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>体育連盟傘下の団体の意識改革、特に体育連盟としてのとりまとめに欠けているように思われる。また、ジュニア世代の育成を視野に入れた団体活性化と指導者の育成が必要。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 今後も引き続き市民スポーツ振興協議会の活動を支援し、スポーツを通じて市民に健全な心身の発達と明るい健康づくり等を継続する。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	地域スポーツ振興事業				財務会計上の事業名	地域スポーツ振興事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	5	3	2	2	担当部署名	生涯学習推進課
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第3節社会教育の振興				
	項目	項目2スポーツ・レクリエーション活動の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	各地域で卓球・市民ボール・グランドゴルフなどのスポーツ大会を開催する。
めざす姿(目標)	地域住民のスポーツレクリエーション活動を定着させ、住民の健康づくりとコミュニティづくりを推進する。
事業の対象(誰を、何を)	市民(小学校区住民)
事業の手段・方法(どのように)	旧小学校区(1校区)でスポーツレクリエーション大会を開催。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	430	430	430	参加者数	724人/年	533人/年	1,000人/年	
主な内訳	報償金	430	430					
☆成果の達成状況					C.判断できない			
財源	国・府支出金			☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	☆事業は効率的に実施できているか	報告を受けていない実施分があり、参加者数を追えていない。 A.有効的である(改善の余地がない) A.効率的である(改善の余地がない) 地域住民を対象に、住民ニーズに応じたスポーツ活動を展開し、健康体づくりと併せて地域コミュニティの育成が図られている。		
	地方債							
	その他()							
	うち受益者負担 B							
一般財源 C	430	430	430	☆上記「有効性・効率性」選択の理由				
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)	
特になし	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
気軽に、いつでも、だれでもスポーツに参加できる機会と場を提供し、地域コミュニティの活性化と住民の健康づくりを図る。PRに努める。	現状維持 《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 気軽に、いつでも、だれでもスポーツに参加できる機会と場を提供し、住民の健康づくりを図り、校区ごとにスポーツ推進委員や学校開放運営委員会、スポーツ振興会が担い、住民ニーズに応じたスポーツ活動を展開しているため、今後も継続が必要。

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	市民レクリエーション大会開催事業				財務会計上の事業名	市民レクリエーション大会開催事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	5	3	2	3	担当部署名	生涯学習推進課
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第3節社会教育の振興				
	項目	項目2スポーツ・レクリエーション活動の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	スポーツに気軽に親しみ参加できる運動会を11の地域において開催する。
めざす姿(目標)	レクリエーション大会を通して、生涯スポーツの振興と地域のコミュニティづくりの活性化を図る。
事業の対象(誰を、何を)	市民
事業の手段・方法(どのように)	各小学校区の実行委員会に報償金を支払う
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	2,430	2,430	2,430	参加者数	14,041人/年	16,946人/年	15,000人/年	
主な内訳	報償金	2,430	2,430					
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金			☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)	世代を超えた交流の場として定着している。		
	地方債							
	その他()							
	うち受益者負担 B							
一般財源 C	2,430	2,430	2,430	☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)	各校区とも、秋のイベントとして定着し子どもから高齢者まで世代を超えた交流の場となっている。		
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	・上記「有効性・効率性」選択の理由				
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)	
特になし	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
特になし	現状維持 《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 各校区とも、秋のイベントとして定着し子どもから高齢者まで世代を超えた交流の場となっていることから、今後も継続して事業をおこなっていく。

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	障がい児(者)スポーツ活動促進事業				財務会計上の事業名	障がい児(者)スポーツ活動促進事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	5	3	2	4	担当部署名	生涯学習推進課
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第3節社会教育の振興				
	項目	項目2スポーツ・レクリエーション活動の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	障がい児(者)の機能回復、健康増進を目的としたスポーツ教室を開催する。
めざす姿(目標)	障がい児(者)の機能回復と健康維持・増進、参加者相互の親睦を図る。
事業の対象(誰を、何を)	市民(障がいのある子どもたち)
事業の手段・方法(どのように)	障がい児(者)を対象にスポーツ活動の機会を提供する。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	100	100	100	参加者数	80人/年	76人/年	100人/年	
主な内訳	報償金	100	100					
☆成果の達成状況					C.判断できない			
財源	国・府支出金			☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	・上記「達成状況」選択の理由	障がいのある子どもたちを対象にしており、機能回復とスポーツを楽しむきっかけとしているため、目標値達成を目的としていない。		
	地方債							
	その他()							
	うち受益者負担 B							
一般財源 C	100	100	100	☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)			
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	・上記「有効性・効率性」選択の理由	教室の運営については、すでに団体の自主活動に委ねている。			
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)	
特になし	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
気軽に、いつでも、誰でも参加できる機会と場所を提供し、地域コミュニティの活性化と住民の健康づくりを図る。	現状維持 《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 障がい者スポーツの普及、振興において、「障がいの種類や程度に合わせた事業」を実施している関係部署との連携や障がいをもつ子ども、親が参加できるようなPRが必要である。

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	卓球のまちづくり事業				財務会計上の事業名	卓球のまちづくり事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	5	3	2	5	担当部署名	生涯学習推進課
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第3節社会教育の振興				
	項目	項目2スポーツ・レクリエーション活動の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	気軽にだれでも楽しめる生涯スポーツのひとつとして、卓球の普及・振興を図るため、卓球講習会やジュニア世代対象の講習会を開催する。
めざす姿(目標)	卓球講習会などを通じて、生涯スポーツの推進や若い世代へ卓球を普及させ、「卓球のまち池田」を推進する。
事業の対象(誰を、何を)	市民・卓球愛好家
事業の手段・方法(どのように)	卓球のまち池田推進委員会に委託し、卓球関係団体等の協力を得て各種事業を実施する。
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)		
	(決算)	(決算)	(予算)							
事業費(千円) A	625	866	1,000	参加者数	286人/年	531人/年	300人/年			
主な内訳	委託料	625	866							
☆成果の達成状況					A.順調に推移している					
財源	国・府支出金			☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	・上記「達成状況」選択の理由	卓球のまちづくり事業まちづくりの観点から意義のあるものである。いままでも様々な切り口で内容を検討し、参加者に楽しんでもらっている。				
	地方債									
	その他()									
	うち受益者負担 B									
一般財源 C	625	866	1,000	☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)					
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	・上記「有効性・効率性」選択の理由	子どもから高齢者まで、気軽にだれでも楽しめる生涯スポーツのひとつとして、「卓球のまち池田」の推進が図れているため。					
受益者負担率 B÷A										

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>平成30年度よりはじまったカデットオープン大会により参加者数が増加した。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>池田市の子どもから高齢者までが、身近に卓球に触れる機会をふやす事業で、誰もが、安全に楽しめる生涯スポーツとして進めて行く必要がある。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 地域での卓球教室の回数を増やし、池田市の子どもから高齢者までが、身近に卓球に触れる機会を増やす事業で、誰もが安全に楽しめる生涯スポーツとして継続する必要がある。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	スポーツセンター管理運営事業				財務会計上の事業名	スポーツセンター管理運営事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	5	3	2	6	担当部署名	生涯学習推進課
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第3節社会教育の振興				
	項目	項目2スポーツ・レクリエーション活動の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	総合スポーツセンターの適切な管理運営を行う。
めざす姿(目標)	指定管理者制度により、各種スポーツ事業の開催や、スポーツ活動のための場所を提供し、スポーツ振興を図る。
事業の対象(誰を、何を)	総合スポーツセンター
事業の手段・方法(どのように)	指定管理者による管理運営
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	なし

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	60,309	44,756	63,248		利用者数	104,000人/年	30,247人/年	104,000人/年
主な内訳	指定管理料	60,309	44,756	63,248				
☆成果の達成状況					C.判断できない			
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	令和元年7月から令和2年5月まで改修工事により休館していたため。		
	地方債					A.有効的である(改善の余地がない)		
	その他(体育館使用料)	22,926	6,873	12,886	☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	指定管理者の特色を生かした事業を展開することにより、利用者のニーズに合わせたきめ細やかな対応ができています。		
一般財源 C	37,383	37,883	50,362	・上記「有効性・効率性」選択の理由				
一般財源比率 C÷A	62.0%	84.6%	79.6%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)	
<p>平成21年度より指定管理者制度を導入。現在は一般財団法人池田みどりスポーツ財団が管理運営を行っている。</p> <p>また、本市が東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウンになることが決定したことを受け、その拠点施設として利用するため、令和元年7月から令和2年5月まで総合スポーツセンターの耐震改修工事を実施。</p> <p>そのため、工事に伴う休館期間中は夫婦池テニスコートに場所を移し、一部の事業に限定して実施した。</p>	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
<p>新型コロナウイルスの感染拡大を受け、市民にスポーツ活動の場を提供するという事業目的と、感染防止対策をどのように両立させていくのが課題である。</p>	<p style="text-align: center;">現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、引き続き指定管理者と密接に連携・調整しながら、利用者が快適に利用できるよう運営改善に向けてに努力する。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	学校体育施設等開放事業				財務会計上の事業名	学校体育施設開放事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	5	3	2	7	担当部署名	生涯学習推進課
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第3節社会教育の振興				
	項目	項目2スポーツ・レクリエーション活動の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	地域スポーツ振興の拠点として、小学校(旧細河小学校含む)の体育施設を開放する。
めざす姿(目標)	小学校(旧細河小学校含む)の体育施設で地域住民が効果的にスポーツ活動を行うことで、学校体育施設などの効果的な活用を行うとともに、地域住民のコミュニティづくりを推進する。
事業の対象(誰を、何を)	地域住民
事業の手段・方法(どのように)	学校教育上支障のない範囲で地域住民に学校教育施設(市立小学校の体育施設)を開放する。管理指導員は当該学校職員・スポーツ推進委員・校区スポーツ関係者より選出し、開放時の管理をする。
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)	
	(決算)	(決算)	(予算)						
事業費(千円) A	1,876	2,184	2,905	利用者数		16,897人/年	53,450人/年	17,000人/年	
主な内訳	報償金	1,200	1,152						1,280
	シルバーセンター活用事業	440	762						1,108
	保険料	111	108						95
☆成果の達成状況					A.順調に推移している				
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	地域住民が身近で手軽にスポーツを楽しむことのできる施設となっており、地域スポーツの振興、市民の健康づくりに大きな効果がある。			
	地方債								
	その他()				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)			
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)			
一般財源 C	1,876	2,184	2,905	・上記「有効性・効率性」選択の理由	学校開放事業を各校区の開放運営委員会にゆだねることで、スポーツ活動を通じて健康づくりやコミュニティづくりができる。				
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%						
受益者負担率 B÷A									

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度は開放実施が減る見込み。	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、見通しが不透明となっている。	現状維持 《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 地域住民に、身近なスポーツ活動の場を提供することは健康づくりや地域コミュニティづくりに不可欠な事業であり、今後も継続して体育館・運動場の活用を図る。

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	ホストタウン事業				財務会計上の事業名	ホストタウン事業
第3期実施計画の区分 章/節(施策)/項目/事業番号	5	3	2	8	担当部署名	生涯学習推進課
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち				
	節(施策)	第3節社会教育の振興				
	項目	項目2スポーツ・レクリエーション活動の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和3年度
事業内容	東京五輪開催に向けて、オリンピック・パラリンピアンとの交流促進、ホストタウンとして事前キャンプ受け入れ、ロシアとの文化交流事業などを実施する。
めざす姿(目標)	相手国との交流やオリンピック・パラリンピアンとの交流を通じて、市民の国際感覚やスポーツに対する意識の向上を図る。
事業の対象 (誰を、何を)	市民
事業の手段・方法 (どのように)	スポーツフェスタやパラスポーツフェスタを開催する。
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度 (決算)	R元年度 (決算)	R2年度 (予算)	指標値 (活動・ 成果)	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)
	事業費(千円) A		1,318					
主な内訳	報償金	1,318	500					
	委託料			36,401				
	備品購入費			599				
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	台風による中止などで参加者数合計は減少しているものの、オリンピック・パラリンピアンとの交流を通じて、市民の国際感覚やスポーツに対する意識の向上を図ることができた。		
	地方債							
	その他(基金繰入金)			17,500	☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
一般財源 C		1,318	20,000	・上記「有効性・効率性」選択の理由	事業の実施を通じてオリンピック・パラリンピアンとの交流を行うことで、市民の国際感覚やスポーツに対する意識の向上を図ることができた。			
一般財源比率 C÷A		100.0%	53.3%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)	
東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が翌年に持ち越しとなった。	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
オリンピック・パラリンピックが延期となったことで聖火リレーなど仕切り直しとなる。	現状維持 《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 オリンピック・パラリンピック延期により全体的に1年後ろ倒しとなるため。